

卒業生のメッセージ



モハメッド アブドゥラ アルアジディ氏

アブダビ国営化学会社最高経営責任者

Mr. Mohamed Abdulla Al Azdi

CEO, Abu Dhabi National Chemical Company (ChemWEyaat)

1983 年度 販売物流コース参加

1984 年、私は、アブダビ国営石油会社（ADNOC）からもう一人の同僚とともに JCCP 販売物流コースに参加する機会を得ました。同じコースにはサウジアラビア、インドネシア、ナイジェリア、中国、ミャンマー、タイからも参加者があり、これらの仲間と一緒に約一か月間、日本で研修を受けることができました。

この研修では、JCCP での講義のほか、石油および LP ガスの販売と物流の現場を見学し、自分の仕事でそのまま活用できる実用的な知識をたくさん学ぶことができました。今、改めて当時を振り返ってみると、あの時に勉強したことが、後々までずっと自分のキャリアに役に立っていたということに気付かされます。

私は当時 ADNOC の国際マーケティング部で働いていたので、本コースを受講する前にも、日本に出張する機会が何度もあり、日本のことはある程度分かっているつもりでいました。しかし JCCP のコースで約ひと月という長期間にわたって日本に滞在することができたおかげで、日本の石油産業・LP ガス産業をじっくりと勉強することができただけでなく、その生産性を支えている企業の文化や、それが依って立つ日本の文化や歴史までにまで踏み込んで、深く日本を理解することができたのは幸せだったと思います。これは私だけの感想ではなく、同じコースに参加した仲間みんなが経験したことだと思います。

さて、この 30 年間にアジアの石油産業は大きく発展し、さらに変化しようとしています。これからの石油産業は、石油精製だけではなく、石油精製と石油化学とをインテグレートした産業としてその姿を変え、より高い付加価値を目指していくこととなります。JCCP には、石油産業がこうに変貌しつつあるのに合わせて、各コースで石油化学の分野までカバーし、カリキュラムを充実していただけるよう期待したいと思います。また、歴史・文化の理解や、日本と産油国との文化交流の促進も JCCP 研修の大切な要素だと私たち研修卒業生は感じました。技術研修のプログラムに加えて、日本語や日本文化に関する授業も充実させ、私たちの後輩が日本の技術力を支えている「ものづくりの風土」にまで踏み込んで理解できるよう、コースの構成を考えていただければありがたいと思います。

最後に、研修卒業生の一人として、JCCP の今後の末永い繁栄と成功をお祈り申し上げます。

